

## 🌸 初めまして！！

この度、私たち専門看護師・認定看護師は、私たちの活動を広くご理解いただき、皆さまに活用していただけるようニュースレターを発行することに致しました。

「専門・認定看護師ってどういう資格？」「何をやっているの？」「どういう時に相談できるの？」といった疑問や日々の実践で皆様の期待に応えられるよう、努力していきたく思います。

今後ともよろしく願い申し上げます。



専門看護師・認定看護師一同

### ■専門看護師 (Certified Nurse Specialist : CNS) とは・・・

日本看護系大学協議会が認定する修士の教育課程を終了後、日本看護協会の認定審査に合格し、ある特定の専門看護分野において卓越した看護実践能力を有することを認められた者を言います。役割としては、看護実践・相談・調整・教育・倫理調整・研究があります。

### ■認定看護師 (Certified Nurse : CN) とは・・・

日本看護協会が認定する研修センターなどの教育課程を終了後、日本看護協会の認定審査に合格し、ある特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を有することが認められた者を言います。役割としては、実践・相談・指導があります。

## ■ TOPICS 今回のテーマ

今回は「集中ケア認定看護師」と「がん化学療法認定看護師」についてご紹介いたします。

### ■集中ケア認定看護師のご紹介

集中ケア認定看護師は、酸素療法中やBiPAP、人工呼吸器を装着している患者、循環動態の不安定な患者など生命の危機状態にある患者のケアを中心に活動を行っています。

急性期で状態が悪いけど、ケアはどうするの・・・、酸素ってこれでいいの・・・、迷ったらご連絡下さい。



### ■がん化学療法認定看護師のご紹介

がん化学療法認定看護師は、がん化学療法における新しいレジメンの安全・安楽な投与管理、副作用に関する支援、治療やそのほかのことに関する意思決定支援などを中心に活動しています。

些細なことでも構いませんので疑問や不明点があればご連絡お待ちしております。

# 集中ケア認定看護師の活動



## ◆集中ケア認定看護師の役割

集中ケア認定看護師には、生命の危機状態にある患者の病態変化を予測した重篤化の予防、廃用症候群などの二次的合併症の予防および回復のための早期リハビリテーションの実施（体位調整、摂食嚥下訓練等）などの役割があります。

フィジカルアセスメントを駆使して生命の危機的状況にある患者さんの病態変化を予測し、重篤化を回避するための援助を行います。専門的知識と技術を用いて早期離床、早期回復を目指したケアを実践しています。また、ご家族の精神的苦痛を和らげるよう取り組んでいます。

## 🔍 BiPAPのここがポイント

病棟で時々困るようです。

医師：「BiPAP※」つけます・・・

方法：

- ① ME室に取りに行きます
- ② 配管に取り付けます
- ③ リークテストします
- ④ 設定は医師がおこないます
- ⑤ マスクを選びます
- ⑤ バンドを頭の後ろにセットします
- ⑥ 皮膚保護剤を鼻根部とほうれい線のあたりに貼ります
- ⑦ マスクを医師または看護師が抑えて呼吸をしてもらいます
- ⑧ 落ち着いたらバンドで固定します



- ♥ リーク量はゼロにはなりません。30L/分程度のリークが理想です。
- ♥ マスクは持ち上げた時に少し浮く程度の固定です。
- ♥ マスクのシリコンゴムが寄れていれば締めすぎです。
- ♥ 皮膚保護剤は必ず貼って下さい 20～35%に潰瘍ができます。
- ♥ リークテストの方法は機械についています。



※ BiPAP ビジョン：気管内挿管や気管切開をせず、マスク装着だけで一定の圧力や決められた量の空気を肺に送る人工呼吸器の一つです。空気もれ（リーク）を許容する開放式回路で、酸素濃度が設定できるグラフィックモニターを搭載しています。



# がん化学療法認定看護師の活動



## ◆がん化学療法認定看護師の役割

専門的知識・技術をもとに、がん化学療法における安全・適切な投与管理、副作用ケアなどの実践・指導・相談の役割を持った認定看護師です。治療を受ける患者さんの支援はもちろんのことですが、抗がん剤という特殊な薬剤を扱う治療であるため、治療に携わる医療スタッフの支援も行っています。

## 今回の TOPIC : がん化学療法における曝露対策

近年、抗がん薬の曝露による職業的な健康障害潜在リスクについて注目が集まっています。

薬剤師	看護師	その他
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 薬剤調製</li><li>・ 運搬</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 投与準備</li><li>・ 投与時</li><li>・ 使用後の物品処理</li><li>・ 漏出対応時</li><li>・ 排泄処理時</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 汚染した環境を清掃する時</li><li>・ 汚染したリネンを洗濯する時</li></ul>

**職種による曝露機会**

**【抗がん剤の取り扱いの基本】**

- 1) 全般的事項
  - ・ 抗がん剤に対する知識・技術を習得した職員が取り扱う
  - ・ 使用する器具・用具は出来る限りディスポーザブル
- 2) 注射剤
  - ・ 保管・搬送は破損のないように
  - ・ 安全キャビネット使用推奨
- 3) 内用薬・外用薬
  - ・ 素手で触れない

今回は日常遭遇しやすい曝露時の対策についてQ&Aとしてまとめてみました

Q 1 : 皮膚や手指などに抗がん剤がついてしまったら？

A 1 : ただちに石鹼と流水で十分に洗い流す（大量なら皮膚科受診検討）

Q 2 : こぼしてしまったら？

A 2 : 床などにこぼした場合、

少量ならば・・・PPE 装着の上、ディスポの布で内側に向かって拭き取り、その後水でぬらした布でふき取る。ビニールにいれてから捨てる。

多量ならば・・・『スピルキット』（上記のような場合の清掃用具一式がひとまとめになっている）を持って速やかに上記と同様の対応を。

Q 3 : 患者の尿には抗がん剤が混入していると聞きますが、トイレは2回流すように指導するの？

A 3 : 抗がん剤の多くは、代謝・排泄の過程の中で一定期間は、患者の尿や便・吐物などの排泄物に混入していることが分かっています。これらからの曝露を予防するためには、いつも実践している標準予防策が有効です。

トイレは2回流すと完全にきれいになるというデータはありません。むしろ、流すときに水の飛び散りを防ぐために便座のふたをしめたり、便座が汚染した場合のふき取りが重要です。

■すっかり涼しくなりましたね。

秋の深まりとともに読書はいかがですか？

今回は、オススメの書籍をご紹介します。

こちらはがん化学療法を受ける患者さんへの説明を特集したものです。

プロフェッショナルナーシング 2015 年臨時増刊

「キードラッグ&副作用別 そのまま使えるがん化学療法患者説明ガイド」

出版社：メディカ出版

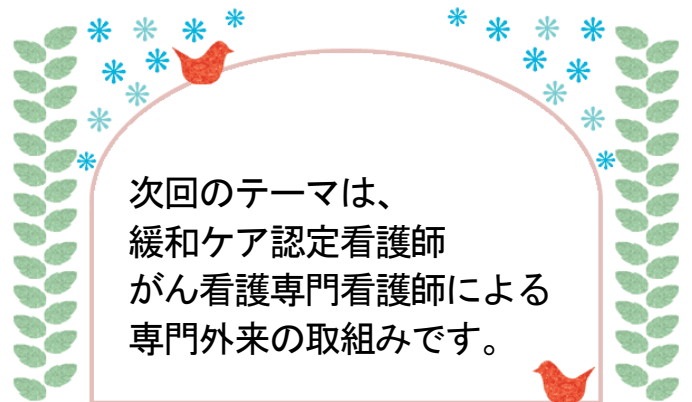
監 修：三嶋 秀行



## 編集後記

<ニュースレターの発行によせて>

看護師をはじめ院内・外の多くの方々に私どもの活動を知っていただき、ご相談いただくことで、患者さんによりよい看護をご提供できればという思いでおります。今後ともよろしく願い申し上げます。



公立学校共済組合 関東中央病院 看護部